

# 外国につながる子供たちの「伝えたい、 理解したい！」を大切にする教育って？

開催日：2025 年 11 月 19 日（水）

# 目次

2025 年 11 月 19 日

実施概要 .....	3
1 班（高校生 3 名） .....	4
2 班（高校生 3 名） .....	8
3 班（高校生 3 名） .....	13

## 実施概要

テーマ

- 外国につながる子供たちの「伝えたい、理解したい！」を大切にする教育って？

開催日

- 2025 年 11 月 19 日（水）

参加者

- 高校生：外国につながる生徒 9 名

形式

- 出向く型（関東地方の高等学校）

## 1 班（高校生：3 名）

- 日本に来てすぐ、学校生活でこまったこと心配だったことはありますか？ どうやってその大変さをのりこえましたか？

＜日本に来てすぐの頃を振り返って、学校で困ったことや心配だったことはあったか？＞

- ・ 小学校 4 年生で初めて日本に来たときに、日本語が話せなくて友達を作るのが大変だった。日本語を話せない人用の国際教室が小学校の中にあっただので、国際教室で日本語を頑張って勉強した。小学校 5 年生になって自分から積極的に挨拶をすることで、初めて友達が作れるようになった。とても嬉しくて印象に残っている。
- ・ 困ったことはない。今通っている高校は定時制なので、先生がやさしい日本語で授業をしてくれた。先生がとても優しくかった。
- ・ 中学 2 年生の時日本に来た。一番驚いたのは、学校にいる時間が日本は長いこと。母国では授業は 4 時間くらいしかない。いつまで授業が続くのか分からず戸惑った。生活は周りが助けてくれて困っていなかった。私は双子なので、双子の妹も同じ中学校の別のクラスに通っていて、何かあったら助け合った。

＜学校内で、言語の困りごとは周りの人にどうやって助けてもらったか？＞

- ・ タブレットでその場で訳しながら会話を聞いていた。日本語が分からなくても、日本語の普通クラスに入れた。中学 2 年生のときは日本語サポートの先生がいなかったので、半年ほどタブレットを使って自分で訳した。中学 3 年生になったときに日本語サポートの先生が来た。
- ・ 小学校のとき、学校に国際教室があることで、学校の悩みを話せる場所・相手がいてよかった。
- ・ 日本語ができなかったので、学校にいる時間は（周りの会話が）理解できなくて、一部はよく分からず流していた。日本語サポートの先生がついてからは大きく変わって、周りの会話を理解できるようになった。

- クラスで、どんなサポートがあると、もっと勉強しやすくなると思いますか？

＜どうしたらもっと勉強しやすくなるか？＞

- ・ 高校のガイダンスルームの先生で、日本語能力試験のサポートをしてくれたのがよかった。
- ・ 日本語の授業中でも、外国人同士で科目の内容を話すことができる時間があると、お互い理解できるし意見交換もできるし、やったら良いと思った。外国人だけではなく、外国人と日本人と一緒に話す機会があれば、コミュニケーションができるし良い。

＜先生が話すのではなく、みんなで話し合う時間があるとよいということか？＞

- ・ はい。例えば、ある教科の授業は一方通行で考える時間が少ない。授業中に生徒同士で確認する時間などがあれば「こういうことですか？」を確認しやすい。それがないと本当に理解ができない部

分がある。

＜今もみんなで話し合う授業はあるか？＞

- ・ すべてではないが、日本語の授業は生徒たちが話す時間を作っている場合がある。
- ・ 授業中で頑張って理解できるようになったが、アウトプットする時間がないので、日本語の使い方の練習ができない。インプットだけではなくアウトプットの時間を作ってほしい。

＜こんなサポートがあるからうまくいっているということはあるか？＞

- ・ 去年ある授業で日本語が早くて難しかった時に、サポートの先生がいつも隣に来て翻訳してくれた。
- ・ 授業中のスマートフォンの使用がダメで、翻訳もできなかったのはつらかった。

● 進路を考えるとときに、不安に思うこと、こまっていることはありますか？どんなサポートがあればうれしいですか？

＜どうやって今通っているこの学校を知ったか？＞

- ・ 日本に来て最初の3か月は、お父さんが紹介してくれて、自治体がやっているオンラインクラスの日本語クラスを受けていた。そのクラスで「日本の高校を卒業したい」と伝えたら、外国人支援を行うNPO団体を紹介してくれたので登録した。朝 NPO に行き、夜は自治体のオンラインクラスを取っていた。入学テストを受けて、この高校に入った。NPO で「日本の大学に進学したい」と伝えたら、この高校を勧めた。

＜この高校を卒業したら何をしたいか？＞

- ・ 日本にいたいと思っている。大学に進みたい。母に「保育を勉強したい」と伝えたら、「どこでもいいが学費は自分で払ってほしい」と言われた。学費の関係で母国に帰ることも考えたが、父に相談したら「（学費のことは）気にしないでいい」と言ってくれた。悩んだけど周りに相談して良かった。
- ・ 今の高校のホームルームで毎週水曜日将来のことを考える機会を作ってくれている。英語の先生になりたいと言ったら、適切な大学を紹介してくれたりしている。
- ・ この高校を卒業して大学に進学したいと思っているが、目指している学校が獣医関係のため、日本での進学は難しいと学校の先生に言われている。どうしても獣医の勉強を、日本か母国でしたいと思っている。まずは、日本で夢を叶えるために頑張りたい。（日本で夢をかなえることが）不可能であれば、母国に帰国して大学に行くことも考えている。

＜夢をサポートしてくれる環境はあるか？＞

- ・ 一人の先生に、相談ではなくカジュアルに夢を伝えてはいる。

＜いま将来の夢に向けて困っていることはあるか？＞

- ・ この高校で先生に相談したら、ちゃんと受け止めてくれている。サポート体制がある。
- ・ この高校で困っていることはない。

＜この高校に入ろうとしたときにどうやって調べたか？＞

- ・ 自分のレベルにあった高校を選んだ。県立高校の入学の中で、在県外国人等特別募集という、その県に住んでいる外国人向けの試験がある中から、この学校を選んだ。たぶん、中学校の先生からそういう募集があることを教えてもらった。
- ・ 私も、（さっき別の人が話したのと同じ）外国人支援を行う NPO 団体に通っていて、受験のためのサポートをしてくれた。双子の妹もいたが、この学校はレベルが高く、妹は入学が叶わず別の高校に通っている。妹の通っている高校では、3 週間に 1 回くらい進路について個別で相談する時間がある。

● 自分の強みは何だと思いますか？その強みを生かすには どんな社会だとよいと思いますか？

＜自分の強みは何があると思うか？＞

- ・ 人の話を聞くのが好きなことが、自分の強みだと思う。相手の考えていることを理解できる。しっかり聞いているから、答えることも正確にできると思う。
- ・ 分からない。
- ・ 私は柔道が好きなので、柔道クラブとか自分の特技が生かせる場があるとよい。今の学校にはクラブがない。

＜自分の強みを生かせるような場になるために、日本の社会がこうだったらいいなはあるか？＞

- ・ 大切なことは、先生が生徒それぞれの特徴に目を向けること。外国人・日本人関係なく、生徒のそれぞれの特徴に目を向けてくれると嬉しい。先生によるが、（生徒個人に）目を向けてくれないと、生徒のやる気をなくしてしまい、もう学校に来たくなくなってしまうと思う。みんなのいいところを伸ばすという思いを、先生全員が持つことが大事。勉強はしたいが、学校が良い場所と感じてないと学校に行きたくない。学びたいから、良い場所だと思って学校に行きたい。私より周りの友達困っている。周りの友達は、（学校に対して）場として良い場所だと思えるようになると学校に行きたくなくなると思う。先生がひとりひとりに目を向ければ、良い場所になると思う。
- ・ 「日本人はこうだ」「外国人はこうだ」というステレオタイプはよくない。

＜周りで、ステレオタイプに悩んでいる人はいるか？＞

- ・ 自分が関わる中ではいないが、そのような状況はイメージできる。周りの人が優しいので、ステレオタイプに当てはめられたことはあまりない。

- ・ 周りはみんな優しいので、それぞれの違いを理解してくれている。「日本人はこうだ」「外国人はこうだ」というステレオタイプは、一般的な話として発言した。
- ・ ネットに多い。ネットに書いてあることで、「〇〇人」とくられることはよくある。

＜どうやったらステレオタイプは解消されると思うか？＞

- ・ 解消されない。難しいと思う。
- ・ 教育・家庭の問題だと思う。「こういう風に考えて」は自分から相手には言えないので、家で親から学ぶことが重要だと思う。

＜今回参加してみてどうでしたか？＞

- ・ すごく良かった。それぞれの考え方を知ることができた。いろんな人の価値観を知れた。
- ・ 来れてよかった。自分の考えていることを言えてよかったし、相手の考えていることを知れてよかった。
- ・ 良かった。自分は日本に来た時困ったことがなかったけど、困っている人の気持ちも知ることができた。あまり普段からこういう話をすることはない。

## 2 班（高校生：3 名）

- 日本に来てすぐ、学校生活でこまったこと心配だったことはありますか？どうやってその大変さをのりこえましたか？

＜日本に来て、困難を乗り越えられたことはあるか？＞

- ・ 日本人と日本語で交流すること。コンビニに行きたかった時とか、自分で買いたいものが日本語では難しかった。普段はスマートフォンのアプリで翻訳する。
- ・ 僕も買い物が難しかった。何度も繰り返すことで、何をやるのか分かって会話も分かるようになった。店員さんを見るだけで、とても緊張してしまう。日本語を忘れたと焦る。
- ・ コンビニはあまり日本語使わないから良いけれど、ファーストフード店では自分で注文しないといけないから、日本語が喋れないと難しい。そのファーストフード店で欲しいものがあるけど、日本語で読めないから、友人と一緒に行く。

＜学校ではどのようなことが困ったか？＞

- ・ 日本人の話すスピードが速い。
- ・ 中学 1 年の時、国語や数学で、まるで何を言っているかわからなかった。とりあえず頷いて、わかっているふりをしていた。
- ・ 数学は得意なので、話している内容がわからなくても勉強にはついていけた。でも、国語や理科は全然わからない。
- ・ 中学や高校では、少人数のクラスでゆっくり教えてもらう。それならまだついていける。物理は苦手だからまだついていけない。

＜わかっているフリのままでは、テストの時は困るのではないか？＞

- ・ テストの時は、漢字が書いてあるからわかる。
- ・ 僕は漢字わからない。

＜わからないときは誰が助けてくれるのか？＞

- ・ 友達。
- ・ 先生。

＜他にはどのようなサポートがあると良いか？アプリとかがあると便利か？＞

- ・ 小学校 6 年生の時に翻訳機を使っていたけど、悪い意味でやばかった。音声とは全然違う言葉ばかり表示される。本当に使いにくい。写真を撮ってやる文字の通訳もおかしかった。中学の時は使わなかった。先生が手伝ってくれた。
- ・ 体育の時に友達と卓球したかったのに、翻訳機を使ったら「ボクシングしましょう」って訳されてとても困



った。

- ・ 中学生の時は、野球をやりたいかったけれど文字が読めなくて、野球部があることが分からなかった。バスケット部しか読めなかった。誰も教えてくれなかった。教えてもらえていたら、野球部に入りたかった。
- ・ 中学 2 年の時に日本に来て、先生からお勧めされてサッカー部に入った。サッカー部の顧問の 3 人のうちの 1 人が英語の先生で、英語でルールを教えてくれた。その頃はクラスの担任も英語の先生で、結構話しやすかった。
- ・ 中学の時は友達作るために部活をやっていたが、辛かった。楽しいこともあったけれど、辛かった。土日試合があったが、あるのかないのかわからなかった。予定表があるが、予定が変わっていることもあって、その変更を誰も教えてくれないので、試合の予定がわからなかった。
- ・ 部活にチャットグループがあって、試合がある時は部長から「この日に試合がある」と自分のために英語で書いて教えてくれた。

## ● クラスで、どんなサポートがあると、もっと勉強しやすくなると思いますか？

<勉強の方でどんなサポートがあるといいか？>

- ・ 中学に日本語の先生がいて、毎週木曜・金曜で日本語の勉強があった。行きたい学校のために必要な科目だけ教えてくれて、ありがたかった。その中学は自分だけが外国人だったから、先生 2 人と生徒は自分 1 人みたいな感じ。結構分かりやすくて良かった。最初はひらがなもわからなかったから、カードがあってそれでゲームしながら教えてもらっていた。
- ・ 小学校の時は日本語の授業とかサポートがあって、先生と 1 対 1 みたいな感じだった。中学もあったけど、あまりサポートはなかった。

<どのように日本語を学んできたのか？>

- ・ カードに日本語と外国語とイラストが描いてあるみたいなもの。
- ・ 今は動画とか。レベルが上がって難しくなってきた。
- ・ 本を見ながら自分で学ぶ。
- ・ 日本語が分からない時は教えてもらう。

<どんなサポートがあると授業が安心できるか？>

- ・ スライドに写真や動画を入れて、それを見ながら先生が教えてくれるとわかりやすい。
- ・ クラスが替わっても話せること。クラスのみならず、同じ学年のみんなで話す場所があると安心する。科目によっては、そういう場を学校が用意してくれている。他のクラスの人と話せることが良い。
- ・ 通訳のアプリとか、イヤホンを繋いで同時翻訳とかしてくれると、嬉しい。同時通訳は難しいと思うけれど、あると嬉しい。
- ・ 国語の授業の前に、日本語の授業をしてくれるとありがたい。外国人の生徒は、国語の授業の内容が分かっていないと思う。

- ・ 日本語の勉強のための授業があると嬉しい。
- ・ 国語はとても難しい。何もわからない。小説や古文とかたくさんあるし、文法も単語もわからない。現代文とか古文の前に、まずは日本語そのものを学びたい。国語が難しい。

● 進路を考えるとときに、不安に思うこと、こまっていることはありますか？どんなサポートがあればうれしいですか？

<将来のことや進路は考えているか？>

- ・ まだ将来のことはまだ決めていない。どんな仕事が良いか。どうしたら良いのだろうか。将来やりたいことはいくつかあるが、迷って決めていない。日本の社会的なルールや大学がどのような場所かわからない。受験ルールは分かるけれど、どのような大学があるのか、どのような生活なのかが分からない。だからまだちゃんと考えられていない。
- ・ 将来何を勉強したいか分からない。高校入試の倍率が高くて、合格できるのかなと思っていた。自分の得意な科目だけ勉強している。日本語の先生と大学入試についての勉強もしているけれど、入試の倍率とかが気になってしまう。この高校は、数学・英語・国語の3科目だけで受験できたけれど、他の学校はそうではない。
- ・ 同じ意見を持っている。自分の得意な科目で挑戦することが大事なと思っている。苦手な科目を勉強できたら、もうちょっと上の学校を目指したいと思っている。

<この学校以外でどんなサポートがあれば、もっと勉強できそうか？>

- ・ 国語。めちゃくちゃ難しいので。
- ・ 社会。自分の国で勉強した社会と、日本で学ぶ社会が全然違う。理科とかは自分の国と日本で同じだけれど、社会は全然違う。
- ・ 理科は、日本語がわかれば大丈夫。社会は、日本語がわかっても難しい。
- ・ 歴史も難しい。世界史は、日本史よりはわかりやすいが、難しい。

<もしも、自分で全部科目を選べるとしたらどうするか？>

- ・ 選べたら嬉しい。全部理系にする。
- ・ たぶん国語はやらない。
- ・ 研究職みたいな日本語に関係が少ない仕事に就けば、そもそも日本語を学ぶ必要がないかもしれない。

<高校入試では在県外国人等特別募集など外国人向けの特別入試があるが、大学にないのはなぜか？（参加者よりテーマ担当課へ質問）>

- ・ （テーマ担当課）この地域は外国につながるのがあることも多いので、必要だと判断してそのような仕組みを設けている。大学は、それぞれの学校で似たような仕組みを設置しているかもしれない。大

学ごとに求める人材等の状況が異なるため、仕組みがある大学とそうではない大学がある。

＜大学進学はどのように調べているか？＞

- ・ インターネットで調べている。
- ・ 大学のホームページ、翻訳されているページとされていないページがある。どこから読めばいいかわからない。翻訳してもよくわからない。
- ・ 今はまだ1年生なので自分で調べるようにしている。まだ先生に質問していないけれど、先生に質問することはできる。先生への質問は緊張するとかない。先生は優しい。

● 自分の強みは何だと思いますか？その強みを生かすにはどんな社会だといと思いますか？

＜自分の強みは何か？＞

- ・ 自分の強みが何かわからない。
- ・ 強みは分かっているけれど、相当自信がないと自分の強みが何かは言えない。
- ・ 日本語の発音・使い方を真似して勉強することを通して、日本語を真似する力がついた。

＜他の人よりも自分が少し得意だと思うことはあるか？＞

- ・ サッカー楽しい。サッカーを勉強したい。詳しくになりたい。
- ・ スポーツは得意。勉強は得意ではないけど、やる気になったらそこそこ点数は取っちゃう。ただ、勉強をしようと思えなくてなかなか始まらない。なかなかやる気が出ない。やばいと思わないと、勉強やる気にはならない。
- ・ 自分もやる気がなかなか出ない。勉強をやろうと決めてスタートできれば6時間くらいできる。ただ、開始することが難しい。始まると、夜から朝まで勉強を頑張れる。一度止まってしまうと勉強したくなくなっちゃうから、やり始めたら止まらない。

＜自分の母国語を生かす機会は学校内であるか？＞

- ・ ほぼない。
- ・ ある。機会があつたら活かしたいかはちょっと悩む。
- ・ この前学校説明会があり、自分と同じ母国から来た生徒がいて、日本が全然わかっていなくて（自分が母国語で学校のことを）聞かれた。
- ・ 通訳じゃなくて、サポーターのような仕事をしたいけれど、まだ自分の語学力はまだまだだと思う。母国語を活かしたいけれど、自分の日本語がまだまだ。自分で日本語の勉強をして、サポーターのような仕事になりたい。

<他に言いたいことはあるか？>

- ・ 難しい。
- ・ わからない。
- ・ わからないことがあったら、自分で日本をもっと勉強して、自分からもっと勉強した方がいいんじゃないかと思った。先生から課題とかをもらうけど、自分から勉強した方が学べると思う。今は、日本語の試験の勉強を自分からやっている。
- ・ 日本語の勉強をもっと自分からやりたい。課題があると、どこをやればよいかわかるが、課題がないと、どこをやったらよいか分からない。今は学校の課題はほとんどない。
- ・ 数学の先生は課題を出しているけれど、必ずやるものではなく、やりたい人がやる方法。課題をやるかやらないかはその人次第。自己責任。課題の量は少ない。
- ・ （いまの課題のルールと同じで）強制力はなくて、自由な方がやりやすい。

<今日の感想はあるか？>

- ・ 自分がずっと言いたかったことをやっと言えた。
- ・ 自分が日本に最初来た時と同じ経験をした人と会えて、自分だけの悩みじゃないんだと思えてよかった。
- ・ 色々な人の意見を聴けてよかった。
- ・ （今日は班に3名だけだったけれど）もっとたくさんの人と話したい。人数が少ない。もっといろんな意見が聴きたい。

### 3 班（高校生：3 名）

- 日本に来てすぐ、学校生活でこまったこと心配だったことはありますか？ どうやってその大変さをのりこえましたか？

＜日本に行くとなった時に、何が一番困った？＞

- ・ 言語。
- ・ 言語の壁。
- ・ 文化も違った。どうやって他人と関わり合うか、話すのが母国と違った。
- ・ 中 1 の途中で日本に来た。最初日本の中学校がどういうものか分からなかった。全く別の言語、文化の中でかなり大変だった。最初の 1 年はずっと帰りたいと思っていた。部活（がどういうものなのか）も良く分からなかった。最初柔道部に入ったが、大変だった。最初部活がどういうものか分からず、遊びみたいなものなのかなと思って行って、入部届を軽い気持ちで書いて入部となって（こんなにまじめな感じとは知らず）大変だった。2 年生の途中で辞めた。日本語教室で勉強した結果、2、3 年生くらいになると日本語が分かるようになって、また柔道部に入り直した。最初の 1、2 年生の頃は言語も文化も分からずで、大変だった。
- ・ 自分も日本語教室に通っていた。
- ・ 言語が難しかった。間違うのが怖くて（日本語を話す）勇気がなかった。周りが全員日本人で（日本語を）話さないといけない環境だったから頑張った。周りの日本人は英語があまり話せないから大変だった。

＜日本に来る前に、言語や文化の違いで苦労するだろうなというイメージはあった？＞

- ・ 自分は大丈夫だった、頑張るしかなかったけど、家族が大変だったと思う。

＜元の国に帰りたと思っていたか？＞

- ・ 日本に来る前から行きたくないと思っていた。父親がもともと日本で長く働いていて、自分がコロナになったときに父親に日本に来るように言われた。父親なので嫌だとは言えなかった。母国では家族というのは、母親・父親だけじゃなくおじいちゃん・おばあちゃんも。おじいちゃん・おばあちゃんはまだ元の国にいたので、「日本に行きたい」とは思えなかった。家族で過ごす大事さを知った。
- ・ （自分の意思関係なく）自分も強制的に「日本行け」という感じだった。
- ・ 「嫌になったらいつでも帰って良いから」と言われてはいたが、結局ずっと日本にしている。

＜どんなサポートがあったら良いと思う？＞

- ・ 友達が大事。友達と話しまくったら何とかなる感じる。中学までは「何言ってるの」と言われて「ごめん」としか言えなかった。今までは「分かんねーよ」と突き放すような言い方ばかりだったが、高校になると周りのみんなも大人になっているから、「こういうことを言いたい」と理解してくれようとする、寄り添ってくれるような人が多くなった。

- ・ 高校になってから逆に友達を作るのが難しくなったと感じる。中学まではみんなと同じ授業を受けていたが、高校ではいろいろなものでクラスが分かれるから難しいと思う。自分の今の家は、周りが全員日本人で自分だけが中国人だから日本語ができるようになったと感じる。
- ・ 翻訳機が便利で、（日本語の）勉強としてかなり役に立った。

＜その翻訳機は学校の授業で使えるものだった？＞

- ・ 提供された。持ち歩くこともできた。
- ・ 自分は使っていなかった。

＜翻訳ツールは使っていた？＞

- ・ 中学ではスマホが禁止だったので、使っていなかった。
- ・ 中学 2 年生の職業体験の時に 1 度だけ使った。

＜他に困ったこと、びっくりしたことはあった？＞

- ・ 部活に関して、中学でこういう感じ（毎日部活があることなど）であることを教えてもらえなかった。日本語教室で教えてもらうことは本当に基本的なことだけで、細かいことまでは教わらない。学校によっては個別で教えてもらうみたいなものもあるみたいだけど、母親が「息子に強くなってほしい」という想いから特別扱いせずに、いきなり日本人いっぱいの中に入ることになった。最初「転校生が来た」とみんな近づいてきて来てくれたけど、全く（言ってることが）分からなかった。もっと先生が最初生徒たちに説明してほしいかった。最初の頃は、自分のテストだけローマ字が付いていたのは本当に助かった。3 年生の頃はちょこちょこ漢字も読めるようになっていたから、（自分のテストだけローマ字が付いていたのが）ちょっと恥ずかしかった。
- ・ 「サポート」と「自分で乗り越えるバランスをとること」が大事だと思う。自分は国際教室でずっと学んでいて、（日本語をもっとうまくするには）一般の日本人の生徒の中に混ざっていた方が良かったのかなと感じる。テストの時は、フリガナが付いていたり、分からない時は先生に聞いたりしていた。
- ・ 当時、自分は（日本語が分からずに）提出物が出せず、先生から「〇〇さん、この提出物が出せてませんよ」と言われても「なんで自分の名前が呼ばれているんだ」という状態だった。日本語が分かってくると、分からないところは聞けるようになっていた。
- ・ 自分で掃除をすることは良いことだと思う。
- ・ 「けんかはだめだ」ということをしっかり伝えた方がよい。小学校の頃は外国人だということでなめられて腹の立つことが多かった。親からけんかはだめだと教えられて落ち着いた。今も常識でけんかはしてはいけないということは分かっている。日本では「けんかはだめ」ということを教えられて当たり前みたいになっているが、外国ではそうでない（けんかがそこまで悪くない）こともある。

＜もっと先に（日本に来る前に）こういうことを教えてほしいかったということはある？＞

- ・ 学校から帰る間にどこかに行ってはダメということを知らなかった。学校から友達 5 人くらいと帰っているときにスーパーに行ったときに、スーパーから「こういうやつらが来た」というクレームが来たらしい。先生

に怒られたけど、「こんなの普通じゃないの」と感じた。

- ・ もっと早めの段階でケアをしてくれればもっと良い成績がとれるのにとすることがあった。

## ● クラスで、どんなサポートがあると、もっと勉強しやすくなると思いますか？

- ・ 数学で習う内容が日本と自分の国で違う。母国で 13 歳で勉強する数学の内容と、日本で 13 歳で勉強する数学の内容が違う。数学の三角関数とかの知識が重要になるところは、英語か母国語で教えてもらいたい、サポートがあると良いなと思うことがある。数学以外は基本的に日本語で勉強した方がよい。テストが日本語なので、それを英語で勉強しても答えられなくなる。
- ・ 先生の説明をもっと細かくしてほしい。周りはみんな分かっているから、あとは自習とかが多い。自分は自習がすごく苦手で、教えてほしい。教えてもらえれば吸収できる。

## ● 進路を考えるときに、不安に思うこと、こまっていることはありますか？どんなサポートがあればうれしいですか？

< 中学から高校に行くときに、悩んだことはある？ >

- ・ 最初は、（その入試の）システムが分からなかった。先生に聞いたり、インターネットで調べないといけなかった。大学の説明会に行ったときに案内してくれる人が日本語で、コミュニケーションをとるのが難しく、必要なハンコをもらいに行くのも苦労した。文・理系、行く学部によってどんな授業を取らないといけないのかとかが分からない。自分の興味のある分野はあるが、その分野が苦手な時のサポートが欲しい。数学が苦手で、そこを先輩に教えてもらおうとしても日本語で教わるから、先生に教えてもらうのと変わらないなと感じた。
- ・ 高校入試は大変だった。中学の時、自分がこの高校に入れる成績なのかすら分からなかった。中学最後の数学のテストの成績が悪く「こんな成績で高校なんて行けるのか」と不安だった。

< 高校に行きたいと思ったのはいつ？ >

- ・ 高校に行くのは当たり前と思っていた。小中高大という流れ。行かなかったらという選択肢はなく、行くしかないという感じだった。最後の 1 か月で成績が必要であることが理解でき始めて「このままではまずい」と感じて、勉強を追い込んでやって高校に入ることができた。
- ・ すごく勉強していた。塾も行ってた。中学の時成績はそこまで悪くなかった。

< 受験するときにどういうサポートがあったら良かったと感じる？ また、これから進路を選ぶときにどういうサポートがあると良いと感じる？ >

- ・ どんな専門学校、大学があるのか・違いはなんなのか、国立・私立があること、場所・値段が変わることも知らなかった。そういうものを教えてほしかったなと思う。自分は今行きたい大学を決められているが、周りはどうなんだろう、ちゃんと考えているのかなと思う。
- ・ 授業以外の勉強について、もっと（サポートが）あったら良いなと感じる。塾とかもあるけどちょっと高

い。学校の中でサポートしてもらえるもの、無料でできるものがあると良いと思う。毎日行くのではなく、行きたいとき・教えてほしいときに行けるようなフレキシブルなものと良い。

- ・ 土曜教室というのがこの学校はあるが、今 3、4 人ぐらいしかいない。前までは 10 人くらいいた。
- ・ 土曜教室は基本的に日本語を学びに行く外国人向けのもの。
- ・ まず私は日本語 N2 と英語準 2 級を取ることを目標に頑張りたい。
- ・ 今自分はオンラインで日本語の勉強をしている。

## ● 自分の強みは何だと思いますか？その強みを生かすには どんな社会だとよいと思いますか？

＜自分の強みはなんだと思う？将来のビジョンはある？＞

- ・ 諦めないこと。努力家と言われることが多い。できるかできないかは関係なく、やり続けられるところが自分の強みだと思う。諦めたいと思っても、やるしかないと思ったら進む力はあると感じる。

＜そういう自分の強みを生かすには、どんな社会だと良い？＞

- ・ 周りが応援してくれる（社会）。
- ・ 外国人への扱いではなく、一人間として接してほしい。小中で外国人であることで「何言ってるの」と言われたりで嫌な気持ちになったことがあったから、小中学校から外国人への接し方を教えられると良いと感じる。
- ・ 日本は外国人に厳しいと思う。例えば「日本に来て勉強するには N4 レベルはないと難しいですよ」のようなアナウンスが（日本に来ようとしている外国人に向けて）できると良い。自分の今後の進路、大学はどこ行くかとか仕事はどうするかがよく分からない。それを決めるのも自分じゃないから。自分の強みはよく分からない。

＜例えば来年もっと充実した生活を送れるように、どんなサポートが欲しい？＞

- ・ 自分は今は大丈夫と感じる。日本の文化に慣れてきていると感じる。聞き取ることはかなりできているけど、伝えるのはまだ難しいところがあるなと感じる。
- ・ 自分はたくさんの不安がある。チューターから「その不安を解消するには頑張るしかない」と伝えられた。

＜その不安は具体的にどういうものがある？＞

- ・ みんな思っていると思うけど、「大学に入れるか」というところ。一般受験はもう無理だと感じていて、英語とか他の方法で入学したいと考えているけど、（その入試方式をとっている）大学がレベルが高くて入れるかなという不安がある。

＜言い残したことはある？＞

- ・ 自分の両親は（母国で）大学まで勉強した強みを日本で生かせていない。具体的に言うと、自分



の親は弁護士だったが、日本でできていない。自国で学んだもの・強みを日本でも生かせるような社会にしてみたい。

<今日の感想>

- ・ 今までのことを思い出して、よく頑張ったなと自分でも感じる。自分の過去の話話せて楽しかった。これが社会の貢献になるのがうれしい。
- ・ みんな話を聞いて、いろいろなことを思い出していて、自分だけでなくみんなも苦労してきたんだなと感じた。だからこそお互いにサポートできると良いのかなとも思った。（同じ境遇の）他の人から学ぶことが大事。
- ・ みんな日本に来て同じ問題を抱えているんだなと感じた。サポートが必要だと感じる。例えば今日しなきゃいけない宿題とかだと、今日やらなきゃいけないことは黒板に書いて、「〇〇さん（外国の生徒）はこれをノートに書いてください」など外国の生徒向けに伝え方を工夫してほしいと感じた。先生だけでなく友達に相談しても言語が違うから難しかった。